

ききょう通信

Kobe
Pharmaceutical
University
Press

Vol.181

2025 Autumn Winter

表紙のヒト

6年 平田 琴海さん

来年に控える薬剤師国家試験に向けて勉強に励む今、改めて神戸薬科大学の魅力を感じています。それは、薬学に特化した単科大学ならではの、集中して学べる環境と、学生二人ひとりを支える手厚いサポート体制です。先生方との距離も近く、学習面での相談がとてもしやすいです。時には一緒に食事をすることもあり、親しみやすい関係を築けるのも大きな魅力のひとつです。そうした日々の中で、先生方や仲間とのかわりを通して、人に寄り添う姿勢の大切さを学ぶことができました。卒業後は薬局に就職することが決まっているので、大学での学びと経験を糧に地域に寄り添う「かかりつけ薬剤師」として、多くの方に信頼される存在へと成長していきたいです。

ききょう通信

Contents

- 03 神戸薬科大学長杯
- 05 薬学的症例解析演習
- 07 薬学的症例解析演習「虚血性心疾患・心不全」
- 09 教えて先生！研究内容をカンタンに
- 11 神薬カンケイ
- 13 学生応援チャンネル
- 15 Front Runner
- 17 2024年度授業評価アンケートの結果報告
- 18 2025年度卒業研究優秀賞受賞者

題字について
1970年10月に「ききょう通信」は創刊されました。
当時の金子太郎学長が書き下ろされた題字を
タイトルとしています。



大学認証評価

神戸薬科大学は、公益財団法人大学基準協会による
大学評価基準に適合していると認定されています。



6年制薬学教育プログラム評価

神戸薬科大学は、一般社団法人薬学教育評価機構が定める
「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定されています。



大学生活では学生同士のつながりや先生とのつながりがとても大切です。そこで、入学したばかりの学生同士が自然に交流できるきっかけになればと、5月20日(火)、本学体育館で新入生を対象としたクラス対抗運動会を開催しました。種目はボール通し、玉入れ、綱引き、○人△脚リレー、○×クイズの5種目で、いずれも大いに盛り上がりました。当日はクラス担任も競技に参加し、クラス一丸となって楽しむ姿が見られました。さらに開催前から自主的に練習を希望するクラスもあるほどの熱気で、たくさんの笑顔があふれていました。新しい仲間と協力し合いながら、これからスタートする大学生活の第一歩を元気いっぱいに踏み出すことができた、とても有意義なイベントになりました。

大学生活のはじまりを彩る「新入生クラス対抗運動会」



みんなが力を合わせ、
全員優勝！
新しい毎日の
最高のスタートに。

神戸薬科大学長杯

薬学的症例解析演習

臨床の現場に直結する8つの疾患を題材に、
課題解決型の演習を展開するのが「薬学的症例解析演習」です。
この演習では、「基礎薬学」と「臨床薬学」の知識を結びつけながら、
臨床上の問題を科学的な視点で考察する力を養います。
さらに、全研究室がかかわるのも大きな魅力のひとつです。
多彩な視点が加わることで、学びがより一層豊かに広がります。

どんな授業ですか？
河内先生！

河内 正二先生
実践薬学研究室准教授。病院
薬剤師として、医薬品の研究開発
や臨床研究に従事。創薬から患
者への薬物治療まで幅広く携わ
る。薬剤師が医療現場で果たす役
割を考え、多面的な思考を持つ人
材育成に取り組む。日本病院薬剤
師会、日本薬剤師会、日本医療薬
学会、日本薬学会に所属。

基礎と臨床を結びつけて、
より最適な薬物治療を
提案する力を養います。

薬剤師には、基礎薬学と臨床薬学の知
識を総合的に利活用して、患者さん一人ひ
とりに最適な薬物治療を提案する力が求め
られます。そこで本演習では、各疾患の治療
指針を基本としながらも、患者さんの病歴
だけでなく、生活背景にも目を向け、患者や
生活者が抱える問題に対して、薬学的な視
点から課題を発見し、解決に取り組むこと
ができる資質や能力を養成します。同時に、
将来の多職種連携の場で、主体的に意見
を発信できる力も育んでいきます。

より能動的な学びを通じて、
高度な課題解決力を育成します。

一つの症例をテーマに、各テーマ全5回の授業で展開されま
す。まず症例と課題が提示され、症例に関するミニレクチャーを
行います。その後、小人数によるディスカッションで意見を出し合
い多方面から議論を進めていき、最後に成果を発表します。これ
らの学びを通じて、薬学に関するさまざまな知識を統合しながら
患者さんそれぞれに適した薬物治療を提供する力を磨きます。さ
らに、多職種連携を意識した議論や発表を重ねることで、実践的
な表現力と協働して課題を解決する資質や能力も磨かれます。

テーマ 1

脳血管障害

脳の血管が詰まったり破れたりすることで
起こる疾患です。手足の麻痺や言語障害な
どの後遺症を残すことが多く、早期の対応が
重要です。

河内 正二 准教授

森田 いずみ 准教授

テーマ 2

乳がん

乳腺に発生する悪性腫瘍で、女性がかか
る頻度の高いがんのひとつです。検診による
早期発見で治療成績が大きく改善する疾患
です。

土生 康司 准教授

國東 ゆかり 臨床特命教授

灘中 里美 准教授

三上 雅久 講師

テーマ 3

高血圧

血圧が慢性的に高い状態が続く疾患です。
自覚症状は少ないですが放置すると脳卒中や
心筋梗塞など重大な合併症を引き起こす危
険があります。

江本 憲昭 教授

野村 剛久 臨床特命教授

坂根 稔康 教授

古林 呂之 准教授

テーマ 4

2型糖尿病

インスリンの効きが悪くなり血糖値が高い
状態が続く疾患です。生活習慣の影響が大き
く、進行すると腎症や網膜症などの合併症を
伴います。

堀部 紗世 講師

濱名 則子 臨床特命教授

長谷川 潤 教授

中山 啓 講師

テーマ 5

虚血性心疾患・心不全

心臓の血管が詰まり血流が不足する虚血
性心疾患と、心臓の働きが弱まり全身に血液
を送れなくなる心不全を指し、胸痛や息切れ
を伴います。

PICK UP
P.07

佐々木 直人 准教授

富田 淑美 講師

武田 紀彦 准教授

山田 孝博 助教

テーマ 6

認知症

脳の働きが低下して、記憶力や判断力が
徐々に失われていく疾患です。日常生活に支
障をきたし、高齢化に伴い患者数が増加して
いることが課題です。

白木 孝 教授

山本 克己 特任教授

佐野 紘平 准教授

山崎 俊栄 講師

テーマ 7

関節リウマチ

免疫の異常によって関節に炎症が起こる
病気で、痛みや腫れが長く続きます。進行す
ると関節が変形し、日常生活に影響を及ぼすこ
とがあります。

畑中 由香子 教授

小椋 千絵 臨床特命教授

小山 豊 教授

泉 安彦 講師

テーマ 8

胆管炎

胆汁の通り道である胆管に細菌感染が生
じる疾患です。発熱や黄疸、腹痛が典型的な
症状で、重症化すると敗血症につながる恐れ
があります。

江本 憲昭 教授

猪野 彩 講師

波多野 学 教授

山田 健 准教授

学生同士で議論を重ね、発表でさらに学びを深めていきます。

	臨床系課題	基礎系課題
1 目次	レクチャー、症例・課題提示、スモールグループディスカッション 与えられた症例に関するミニレクチャーを行います。その後、グ ループで症例に関して深く掘り下げて考察し、課題解決に向けた 情報収集、調査項目の抽出を行います。	レクチャー、課題提示、スモールグループディスカッション 治療薬が作用する仕組みや検査・診断方法の原理など臨床に 関連した基礎系課題を提示し、ミニレクチャーを行います。その後、 グループで課題に対する情報収集、調査項目の抽出を行います。グ ループで情報を共有し、解決への糸口を探していきます。
2 目次	スモールグループディスカッション 収集した情報を共有し、意見を出し合い多方面から議論を進めていきます。 課題に対して、具体的かつ論理的にまとめ、発表用プロダクトを作成します。	

発表

グループごとで
発表を行います。
調査・議論・学び
の成果を形にし、
共有することで新
たな気づきが得ら
れます。



薬学的症例解析演習「^{PICK UP}虚血性心疾患・心不全」について

「虚血性心疾患・心不全」を題材に疾患への理解を深めながら、臨床での判断力を高めます。



虚血性心疾患・心不全とは
どんな疾患ですか？

虚血性心疾患は、冠動脈の狭窄や閉塞により心筋への血流が不足し、狭心症・心筋梗塞を含む疾患群です。心不全は心臓のポンプ機能が低下し、息切れや浮腫など全身症状を生じる状態で、さまざまな原因疾患によって引き起こされる症候群を指します。血液が十分に送れないため臓器にうっ血が生じ、生活動作の制限や入院を要することもあります。これらの疾患では、基礎疾患の評価と継続的管理が重要です。



この演習を通じてどんなことを
学んでほしいですか？

薬剤は代謝酵素などの「防衛ライン」を乗り越え、標的となるタンパク質に届いて初めて効果を発揮します。体内で起こる化学変化を筋道立てて説明できる力を養うとともに、その仕組みを応用した分子設計の考え方にも触れてほしいと考えています。知識の暗記に留まらず、構造式から溶解性や相互作用を推測する「考える習慣」を身につけ、臨床の現場で活躍できる薬剤師へと成長してもらいたいと願っています。



先生の薬学的症例解析演習では、
どんな授業を行いますか？

本演習の特色は、処方薬の構造式を手がかりに、有機化学の視点で作用機序を読み解きます。学生は、構造から溶解性・吸収性や代謝経路、相互作用・副作用の可能性を予測し、根拠を専門用語で説明するまでを訓練します。薬名から効能を暗記するのではなく、構造類似性から違いを見抜く逆算思考を学びます。構造式の難易度が高い薬剤は、できるだけ構造が類似している薬剤を用いて、事前講義で補足して、議論と発表で理解を定着させていきます。



武田 紀彦先生

薬品化学研究室准教授。2007年神戸薬科大学博士（薬学）取得。有機合成化学、複素環化学、医薬品化学を専門とし、有機化学Iやがん薬物療法論を担当。日本薬学会近畿支部奨励賞（2008）、有機合成化学協会田辺三菱研究企画賞（2016）受賞。日本薬学会、有機合成化学協会に所属し、近畿化学協会ヘテロ原子部会幹事を務める。

構造式からヒントを読み解き、
「なぜ効くか」を説明する力を
磨いてください。

「正解がない課題」に
仲間たちと向き合い、
最適な解を探りましょう。



この演習のどんなところに
魅力を感じてほしいですか？

「自分で考え、調べ、仲間と議論し、最後に発表する」その一連の学びに大きな魅力を感じています。基礎と臨床を結びつけることで視野が広がり、処方意図を根拠とともに説明できるようになります。協働や合意形成の経験も積むことで、最終日には成果をプレゼンし、相手に的確に伝える表現力を磨きます。臨床と基礎を往復しながら、「唯一の答え」がない状況でも妥当な答えを導き出す姿勢を育むことができるでしょう。

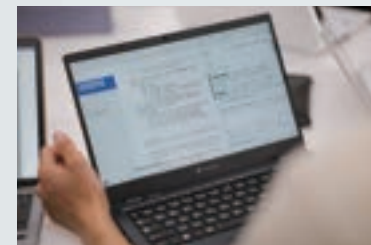


佐々木 直人先生

医療薬学研究室准教授。神戸大学大学院医学系研究科博士課程医科学専攻を2008年3月に修了。日本内科学会（総合内科専門医・認定内科医）、日本循環器学会（循環器専門医）、日本動脈硬化学会（評議員）、日本血管生物医学会、日本免疫学会、日本臨床免疫学会、日本薬学会、日本光医学・光生物学会、American Heart Associationに所属。

先生の薬学的症例解析演習では、
どんな授業を行いますか？

虚血性心疾患・心不全の症例をもとに、急性心筋梗塞に対するカテーテル治療（ステント留置）後の抗血小板薬の処方意図や薬剤ごとの違い、さらに心不全予防薬の役割を整理します。学生同士で症例シートから患者さんの背景を読み取り、問題点を見つけて適切な薬物治療を検討します。教員は必要に応じてヒントを示しながら、学生が患者さんに合った治療方針を導き出す過程を体験できるようサポートします。



演習を実際に行ってみて、
どんな発見がありましたか？

演習に取り組む学生たちの姿を目にし、改めて「作用機序を深く理解してこそ、安心して薬を選ぶことができるのだ」と強く実感しました。演習の中で学生たちが示す多様な発想や新たな視点から、私自身も多くの学びや気づきを得ています。今後も、こうした学生たちから得られるたくさんのヒントを生かしながら、より効果的かつ実践的な演習へと改良を重ねていきたいと考えています。



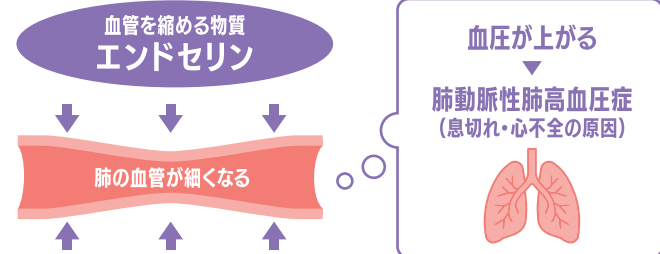
研究テーマ

肺動脈性肺高血圧症の基礎臨床融合研究

カンタンに説明すると

心不全や高血圧などの循環器疾患の原因を明らかにし、
新しい治療法の開発に取り組んでいます。

どういうこと？



長年研究に取り組んできた血管に作用する物質「エンドセリン」については、国内外の研究によってその発見と病気とのかわり、さらにその働きを抑える薬の有効性が示されました。これにより、それまで治療法がなかった肺動脈性肺高血圧症にも治療の道が開かれ、日本では2005年から臨床で使用されています。

多くの患者で改善
エンドセリンを抑える薬の登場

でも効かない人もいます…

そこで！

新たな治療の手がかりを探し、
「アクチビンA」という物質が肺高血圧症に関係していることを発見し、
2021年に論文として報告しました。

この成果は、アクチビンAを抑える薬「ソタテルセプト」の開発・臨床応用につながり、同薬は2025年に日本で承認されています。現在は、エンドセリン経路との併用最適化や新たな治療標的の探索を進めています。

その後
アクチビンAを抑える薬「ソタテルセプト」を開発

さらに症状が改善！

「ベッドサイドの疑問を実験室で解き、再び患者さんへ返す」。このトランスレーショナル(橋渡し)研究が私たちの現在地です。

この研究は、社会にどのような影響を与えるの？

本研究は、息切れで日常が奪われる肺高血圧症を「早く見つけ、悪化させない」社会づくりに直結します。原因物質(エンドセリンやアクチビンA)を特定し、それらを狙う新規・既存治療の最適な使い方を示すことで、入院を減らし、運動能力の回復や学校・仕事への復帰を後押しします。得られたエビデンスは診療ガイドラインや行政施策にも反映され、遠隔地でも均てん化された医療の実現、医療費の抑制、そして同じ病で苦しむ世界の患者さんの希望へとつながります。

臨床薬学研究室
研究内容や
担当科目はこちら



教えて先生！ 研究内容をカンタンに

臨床薬学研究室 江本 憲昭 教授

どんな研究をしているの？それが、どんな未来につながるの？

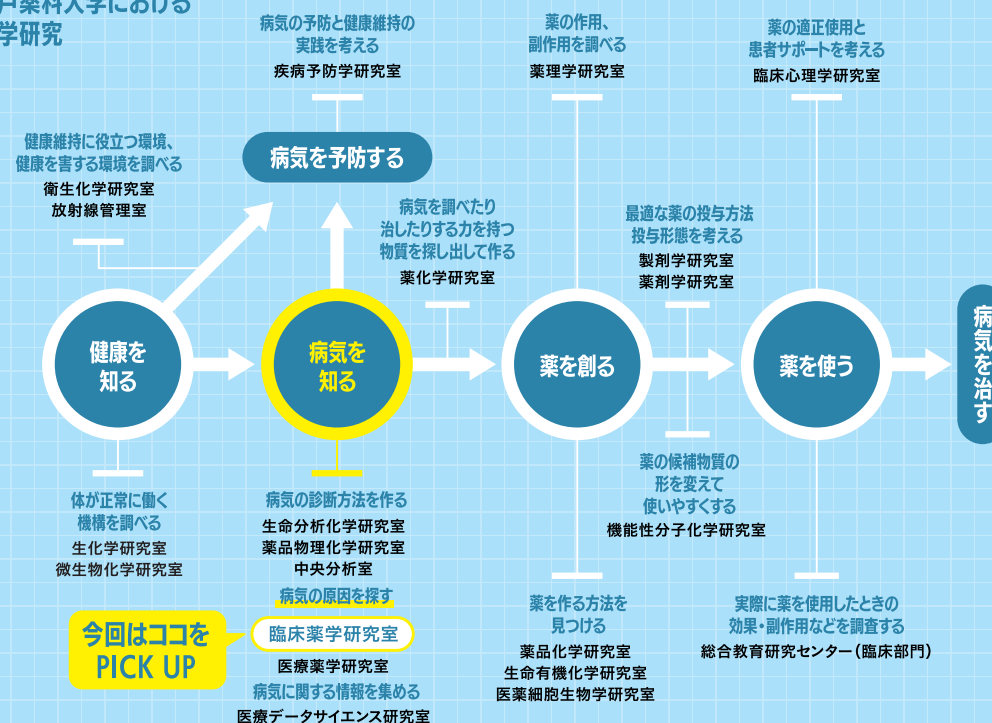
今回は、臨床薬学研究室の江本先生を訪れ、
現在研究室で取り組んでいる研究内容について
教えてもらいました。

Profile Professor Emoto Noriaki

神戸大学医学部を卒業後、神戸大学医学部附属病院や六甲病院で内科・循環器内科の臨床研修を修了。神戸大学大学院医学研究科に進学し、筑波大学や京都大学、テキサス大学サウスウェスタンメディカルセンターにて研究経験を積む。帰国後は神戸大学大学院循環器内科学分野で助手・講師として臨床と研究に従事。現在は神戸薬科大学で教授として血管生物学や生理活性ペプチドの病態解析研究に取り組み、神戸大学医学部附属病院で医師として循環器疾患の診療に従事している。日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本高血圧学会専門医、日本肺高血圧・肺循環学会理事。米国心臓協会Katz賞優秀賞を受賞。



神戸薬科大学における
薬学研究



今回はココを
PICK UP

臨床薬学研究室
医療薬学研究室
病気にに関する情報を集める
医療データサイエンス研究室

神薬カンケイ

笑顔こそ、チームを動かす
最強のエネルギー。



2年
大野 早織さん

2年
田中 南帆さん

2年
小倉 美怜さん

2年
小松原 由衣さん

女子バスケットボール部

女子バスケットボール部で活躍する大野さんと田中さん、小倉さん、そしてマネージャーとしてチームを支える小松原さんは同学年。「一緒にいないと違和感があるほど仲が良いんです」と笑う大野さんに、「部活で出会ったみんなはかけがえのない友達です」と田中さん。小倉さんは「みんな1年次生の頃から一緒に、今では旅行にも行く仲なんです」と話し、小松原さんも「勉強面でも支え合えるのがうれしい」と微笑みます。コートでも日常でも響き合う4人の絆はチームの原動力。「これから力を合わせて大会で良い結果を残したい」と声をそろえ、笑顔でコートを明るく照らしています。

神薬カンケイ

リンクの上に描くのは、
友情という軌跡。



3年
河原 鈴さん

3年
中嶋 歩悠さん

2年
伯々上 愛梨さん

1年
原 悠人さん

スケート部

スケート部で活動する河原さん、中嶋さん、伯々上さん、原さんは、学外のリンクでフィギュアスケートの練習に励む少人数チーム。部長の河原さんは「メンバーはずっと一緒にいたい大切な存在。これからも一緒に成長していきたいです」と語ります。中嶋さんは「楽しい時もつらい時も支え合える仲間です」と笑顔を見せ、「先輩後輩関係なく仲が良く、勉強の相談もできる人ばかり」と伯々上さん。原さんは「スケート未経験で入部しましたが、先輩方に教わり少しずつ上達しています」と意欲をのぞかせます。4人の絆が描く軌跡が、リンクをあたたく包みます。

学生応援チャンネル

Students Support Channel

学業や課外活動に励む学生さんにご登場いただき、
輝く今と未来をお届けします。

身につけ、磨いたマルチタスク力と 逆境に立ち向かう力。

【倉部さん】就職先が決まったそうですね。おめでとうございます。

【高場さん】ありがとうございます。大阪大学医学部附属病院の薬剤部で、薬剤師レジデントとして働くことになりました。患者さんの治療に携わりながら研究にも挑戦できる点に惹かれました。臨床の現場で得た気づきを研究につなげながら、その成果を患者さんに還元できるようになりたいと思っています。

【倉部さん】ステキですね。臨床と研究の両方に取り組みながら歩んでいきたいと思った理由は、どんなところにあるんですか？

【高場さん】大学院進学と迷いましたが、若いうちから臨床に身を置いて、仮説と検証を繰り返していきたいと思ったんです。それに阪大病院は移植医療でも国内トップの実績を持っていて、私の関心と重なる部分が多かったことも決め手にな

りましたね。

【倉部さん】なるほど。じっくり考えて選ばれたんですね。内定に向けては、どうやって情報を集めましたか？

【高場さん】病院見学に何度も行きました。先生方や先輩からも話を伺い、比較しながら自分が納得できる進路を探しました。そのうえで「臨床と研究の両立」を叶えられるのは阪大病院だと確信したんです。

【倉部さん】とても丁寧に準備をされたんですね。就職試験では、どのような点が評価につながったと思いますか。

【高場さん】学業と陸上部での活動、そして歯科医院や調剤薬局でのアルバイトを両立してきた経験がポイントになったんだと思っています。試合に近い時期は練習を中心に、試験前は勉強に集中するように切り替えてきました。自分なりに優先順位を決め、決めたことは必ずやり切る。その姿勢を具体的に伝えることができました。それに加えて、学業・競技・アルバイトを同時に進めてきた「マルチタスクの力」も強みとして評価いただけたと思いますね。コロナ禍で大会がなくても、家でフォーム研究やトレーニングを続けた経験は「逆境に向き合う力」として見ていただけたのではないのでしょうか。

【倉部さん】なるほど。学業・競技・アルバイトを同時に進めながら成果を出せたのは、とても大きな強みですね。まさに文武両道って感じがします。その想いや工夫を、これまでの6年間で振り返りながら一緒にひもといいきましょ。

チャレンジしてはじめて見えてくる、 これからの可能性。

【高場さん】文武両道がステキだなと思ったのは、競泳のオリンピック選手ケイティ・レデッキーさんへの憧れからです。彼女はスタンフォード大学で学業を大切にしながら競技の第一線で活躍していて、その姿に強く心を動かされました。そこ

日々の積み重ねが導いた答え。 学びと挑戦の先に見えてきた未来。

から私も「学業を大事にしつつ競技に挑戦したい」と考えるようになったんです。

【倉部さん】本当にすばらしいロールモデルですね。

【高場さん】1・2年次生の頃はコロナ禍で大会が中止となり、家でフォーム研究や基礎トレーニングに取り組んでいました。3年次生で大会が再開すると、初めて出場した関西薬学生対校戦では円盤投で優勝を果たし、日々の努力が成果として表れたと実感できました。4年次生では、思い切って元オリンピック代表の方に声をかけ、直接指導を受けられるようになったことが大きな転機でしたね。5年次生では実務実習と並行してその元オリンピック選手の方が主催する合宿にも参加し、技術面だけでなく視野も広げることができました。そして6年次生の現在は、国家試験に向けた勉強を軸にしつつ、調剤薬局や歯科医院でのアルバイトも続けています。

【倉部さん】こうして振り返ると、状況に合わせて上手に切り替えてきたんですね。まさに「マルチタスクの力」だと思いますよ。それに、元オリンピック選手の方に声をかけた行動力も本当にすばらしいです。

【高場さん】週ごとに計画を立てて、試験前は勉強を最優先に、シーズンは練習を中心に、と自分でルールを決めました。複数の軸を持っていると、どれかがうまくいなくても他が支えになってくれますし。

【倉部さん】すばらしい工夫ですね。自分の学生時代を思い起こすと、私はバックパックを背負って海外を旅するのが好きだったんです。現地の人々との交流を通じて、探求心を育んだことをよく覚えています。さらに、部活動や大学祭の運営では、後輩として学び、先輩として役割を担う中で、人と協力して物事を成し遂げる「協働力」も養うことができました。これらの経験を通じて、学生みなさんにぜひ伝えたいのは「傾聴力の大切さ」です。相手の声にしっかり耳を傾けることが、新しい学びや成長につながります。高場さんが元オリ

ピック選手の方からの指導を糧に前へ進むことができたのも、この傾聴力があったからこそだと思います。

【高場さん】まずはしっかりと意見を受け止めることを大切にしていました。

【倉部さん】そうですね。私も高場さんのお話を聞いて、改めて「傾聴力」は大切だと感じました。ただ、学生時代に身につけておく力に「これが正解」というものはないと思います。自律して計画する力も、探求心も、協働力も、傾聴力も、それぞれに意味がありますし、どの力をどんな形で伸ばすかは人それぞれです。大事なのは、少しでも興味をもったら挑戦してみること。その経験の中から自分の強みが見えてくるはずですよ。

【高場さん】本当にそう思います。私も挑戦してみて初めて「できるんだ」と気づけました。やらなければ何も分らなかったと思いますね。

【倉部さん】その積み重ねが、今の自信につながっているんですよ。これからどんな道を歩んでいきたいですか？

【高場さん】阪大病院という充実した環境で臨床での研究力を高め、移植医療などの分野で薬物治療の精度向上や副作用の軽減に貢献したいです。そして患者さんが安心して社会に戻れるように支えられる薬剤師を目指していきたいです。競技も、自分のペースで続けたいと思っています。

【倉部さん】本当に頼もしいですね。「自慢の学生です」と胸を張って言えますよ。学生支援課としても、高場さんのようにみんなが成長できるように、就職活動のサポートにとどまらず、不安や疑問を抱えたときに気軽に立ち寄れる「居場所」を増やしていきたいです。

【高場さん】私も後輩たちが悩んでいるときは声をかけたいです。

【倉部さん】その思いが、また次の世代につながっていくんですね。学生生活の正解はひとつではありません。だからこそ、自分の興味や関心を大切に挑戦してみる。その積み重ねが、自分らしい答えにつながっていくんだと思いますよ。

SHINYAKU STUDENT LIFE

TURNING
POINT

1年次

コロナ禍で陸上部の練習が制限される中、自宅でフォーム研究や筋力トレーニングを重ね、未来への基盤を築きました。

2年次

学業に励みつつ、週5日の練習とアルバイトを両立。超過密スケジュールをこなしていました。

3年次

専門科目が増える中でも練習を継続。待望の大会に出場し円盤投で優勝。努力が形になった喜びを実感しました。

4年次

研究や難関試験に挑む一方、元オリンピック選手との出会いに恵まれ、競技面で大きな飛躍を遂げることができました。

5年次

薬局・病院実習と進路選択に悩む日々。合宿で技術を磨き、大会ではやり投で優勝という成果も手にしました。

6年次

阪大病院薬剤師レジデントに内定。国家試験勉強に励みながらアルバイトを続けています。大会では円盤投と砲丸投で優勝を果たしました。

6年
高場 茄乃さん

陸上部で、投てき種目の選手として活躍。卒業後は、大阪大学医学部附属病院の薬剤師レジデントとして就職し、臨床と研究に挑戦する。

学生支援課
倉部さん

一人ひとりの歩みに伴走し、「安心して学べる環境づくり」に力を注ぐ。学生たちの多様な挑戦を後押しし、探求心や傾聴力を育む支援を実践中。

天然酵素を超え、創薬化学にさらなる可能性を。
酸塩基複合化学に基づく、触媒的有機反応プロセスの開発。

現在は「酸塩基複合化学に基づく触媒的有機反応プロセスの開発」に取り組んでいます。この研究では、天然酵素に匹敵する高次反応制御を目指し、既存手法を超える効率と選択性を備えた触媒反応を開拓しています。炭素-炭素結合生成やエステル・アミド合成など、付加価値の高い化合物創製に資する反応に注目し、創薬化学へとつながる基盤研究を展開しています。

こうした研究を支えているのは、化合物や反応に宿る「真理の探求」です。流行のテーマは数多く存在しますが、それよりも「自分だからこそ挑めること」に取り組みたいと考えています。実際には、教科書に載っている古い反応でさえ思うように進まず、弱点は残ります。そこで私たちは、高度な触媒技術を駆使して選択性を制御し、課題解決に挑んでいます。「当たり前」を実現するには新境地の発見が必要であり、独創性と実用性を兼ね備えた反応開発を目指しています。



触媒の力で、化学の未踏領域を拓く。

HATANO MANABU HISTORY



小学校～高校時代

小学生から、昆虫採集や淡水魚・熱帯魚の飼育（アクアリウム）に夢中になり、家中を水槽だらけにしていました。特に動物園の淡水魚コーナーは大のお気に入り。中学・高校は生物部で、土壌生物の研究や、ウニの人工授精の研究をしました。中学までは、将来は水産試験場の研究職に就きたいと考えていました。



大学時代

高校時代には、生物の雑然とした世界とは対照的に、有機化学の洗練された体系に強く惹かれました。その志を胸に東京工業大学応用化学系へ進学し、学部4年時には有機化学系の研究室に所属。パラジウム触媒を用いた反応開発に、休日も惜しまず情熱を注ぎました。学部卒業時には首席としてメダルを授与されました。



大学卒業後

学位取得後は名古屋大学にて助手・講師・准教授を務め、慌ただしくも充実した日々を過ごしました。所属した研究室は生物機能工学分野に置かれた有機化学系であり、そこで不可能とされてきた「ソフト・キャビティ制御による生体模倣触媒反応」の開発に挑みました。難易度が非常に高く、論文の発表まで5年以上を要しました。



生命有機化学研究室
活動内容や担当科目はこちら



生命有機化学研究室
波多野 学教授

Front Runner

神研プロジェクトの最前線で活躍する教員たち



2025年度 卒業研究優秀賞受賞者

卒業研究において、優秀な成績を収めた学生を表彰いたします。

	機能性分子化学研究室 外間 祭里		薬化学研究室 曾我 天衣		薬品化学研究室 岸野 彩花
	生命分析化学研究室 城崎 伶奈		医薬細胞生物学研究室 山下 紗輝		薬品物理化学研究室 大本 光紀
	生命有機化学研究室 紋田 裕平		薬剤学研究室 齋藤 雅貴		製剤学研究室 垣内 梨乃
	微生物化学研究室 薦田 さつき		薬理学研究室 河岡 瑞季		生化学研究室 兵頭 初音
	衛生化学研究室 丸中 幸子		臨床薬学研究室 住本 美羽		医療薬学研究室 田中 悠世
	総合教育研究センター 木村 美里		中央分析室 渡邊 桐子		放射線管理室 渡邊 朋子

※FD …Faculty Developmentの略称。
教員が授業内容や方法を改善し、
教育の質を向上させるために行う
組織的な取組み

QUESTIONNAIRE RESULTS

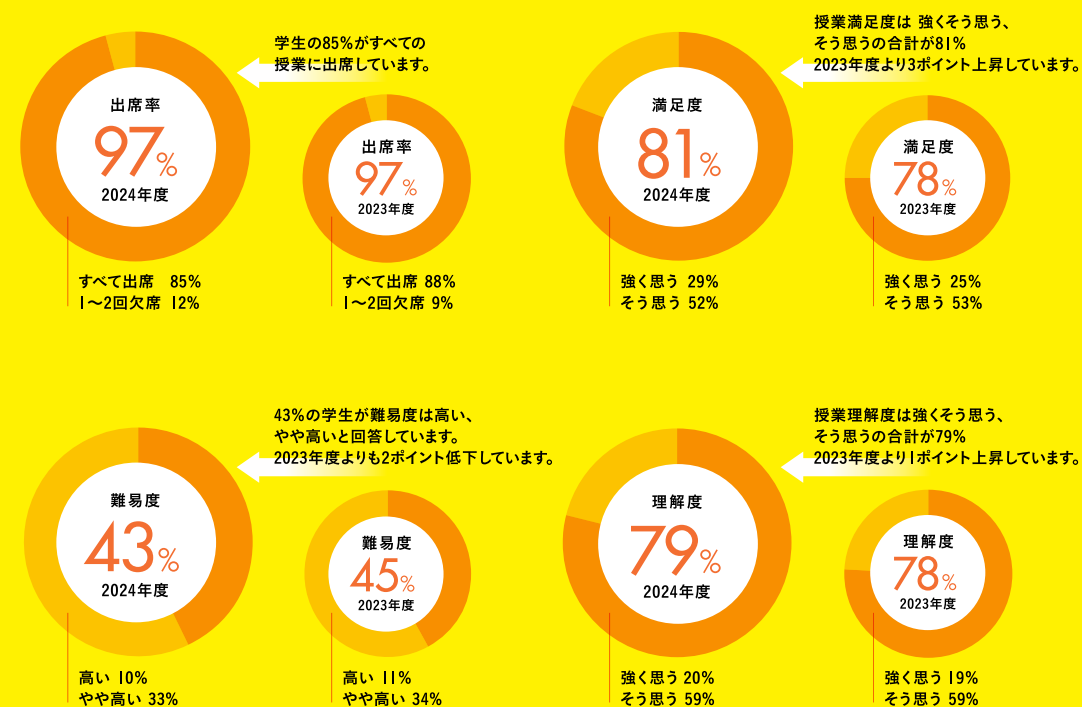
2024年度 授業評価アンケートの結果報告

本学では、授業の改善を目的とした学生による「授業評価アンケート」を実施しています。
「授業評価アンケート」とは全学年を対象に行い、評価対象となる教員は専任教員および非常勤講師です。
2024年度授業評価アンケートの集計結果と分析結果の概要を報告します。

FD委員会

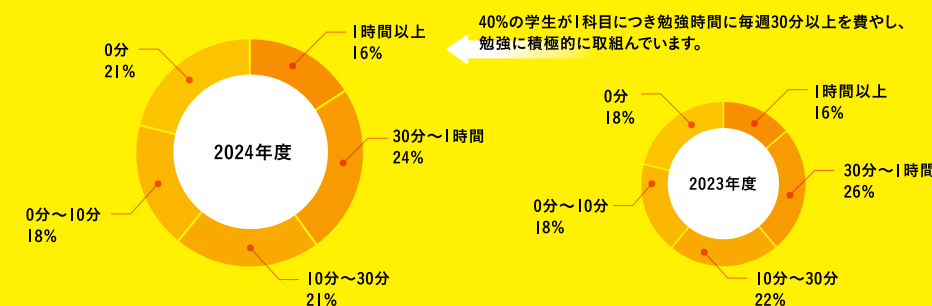
調査結果の要約

授業について



勉強時間について

授業科目に対する予習・復習時間は？



Event Report



ききょう祭

2025年度の神戸薬科大学大学祭“ききょう祭”は10月12日(日)に開催しました。開催にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。今年の大学祭のテーマは「Reconnect」とし、有名声優によるトークショーとお笑いライブを開催したり、フェイスペイントや模擬店を開いたり、一日中楽しんでもらえるような企画ができました。



Information

人事・組織機構改正

【採用】



事務員 稲富 希歌
(入試部入試広報課)
(2025年6月1日付)



講師 佐藤 亮介
(衛生化学研究室)
(2025年9月1日付)

【退職】

〈依願退職〉

准教授 八巻 耕也(薬理学研究室) (2025年9月30日付)
助教 平田 翼(生命有機化学研究室) (2025年9月30日付)

【異動】

主査 平松 亮二 学術情報課研究推進室
(事務局総務企画課から) (2025年8月1日付)
係長 白水 亨 事務局総務企画課
(学術情報課研究推進室から) (2025年8月1日付)

【委嘱】

学長特命補佐 向 智里(2025年10月1日付)

受章・受賞・表彰

D4 Aga Krisnanda(医療薬学講座)「第23回国際留学生Young Investigator's Second-place Award」(2025年3月30日付)
D2 山脇 佑太(薬剤学講座)「日本薬学会第145年会学生優秀発表賞(口頭発表の部)」(2025年4月25日付)
D3 伊藤 謙(医療薬学講座)「日本薬学会第145年会学生優秀発表賞(ポスター発表の部)」(2025年4月25日付)
D2 赤木 彩恵(薬剤学講座)「日本薬学会第145年会学生優秀発表賞(ポスター発表の部)」(2025年4月25日付)
6年 阿部 雄飛(微生物化学研究室)「日本薬学会第145年会学生優秀発表賞(ポスター発表の部)」(2025年4月25日付)
6年 木村 美里(総合教育研究センター臨床部門)「日本薬学会第145年会学生優秀発表賞(ポスター発表の部)」(2025年4月25日付)
2025年3月卒業 関戸 愛梨(薬品物理化学研究室)「日本薬学会第145年会学生優秀発表賞(ポスター発表の部)」(2025年4月25日付)
橋田 充 理事「2025年春の叙勲 瑞宝中綬章」(2025年4月29日付)
6年 出野 萌(製剤学研究室)「日本薬剤学会第40年会最優秀発表者賞」(2025年5月24日付)
6年 木村 美里(総合教育研究センター臨床部門)「日本医療薬学会第8回フレッシュャーズ・カンファランス優秀演題発表賞」(2025年6月22日付)
横山 郁子 助手(地域連携サテライトセンター)「第18回日本緩和医療薬学会年会優秀演題賞」(2025年6月22日付)
D1 殿垣 聖子(製剤学講座)「令和7年度日本緩和医療薬学会優秀論文賞」(2025年6月22日付)
山田 健 准教授(生命有機化学研究室)「第23回有機合成化学協会関西支部賞」(2025年8月27日付)
4年 前田 亮(薬品物理化学研究室)「第8回日本核医学会分科会 放射性薬品科学研究会／第24回放射性医薬品・画像診断薬研究会優秀発表賞」(2025年9月6日付)
山田 泰之 講師(医薬細胞生物学研究室)「2025年度日本植物バイオテクノロジー学会奨励賞」(2025年9月6日付)

寄付

社会医療法人中央会尼崎中央病院 医療法人医誠会 株式会社MCCマネジメント 株式会社大阪ガスファシリティーズ
株式会社大阪ソーダ 株式会社スギ薬局 株式会社メディカル光 桔梗育友会



Event Calendar

2025.4 April - 2025.9 September

①②③④⑤⑥の数字は
対象年次を示しています。

4

2 入学式

3 ⑤ 病院・薬局実習受講説明会
(2期~3期グループ、3期~4期グループ)

4 ④ ビジネスマナー講座
ワークスタディプログラム受講説明会
③ 3年生でやるべきこと
「就活まるわかり講座」

7 前期開講日

9 ④⑤ 薬学生のための業界研究講座
「インターンシップ・仕事体験」
エントリーシートの書き方ガイダンス

20 オープンキャンパス

27 第93回創立記念日

5

9 ④⑤ 仕事研究講座Ⅰ(MR)

11 第109回リカレントセミナー

13 シゴトの魅力発見セミナー
④⑤ 言語・非言語Webテスト受検会

14 ④⑤ 仕事研究講座Ⅱ(臨床開発職)

16 ④⑤ 仕事研究講座Ⅲ(品質保証職)

19 ⑤ 病院実習・薬局実習開始
(2期:5/19~8/3)

20 ① 神戸薬科大学長杯
(新入生クラス別運動会)

31 TOEIC® L&R IPテスト

31-6.1 第51回卒業後研修講座

6

3-5 ⑥ 卒業研究発表会(全3日)

7 大学院レジデント選抜・推薦入学試験

14 ④⑤ ワークスタディプログラム
学内選考会(面接)

21 ④⑤ ワークスタディプログラム
事前説明会・報告会打ち合わせ会

7

13 薬剤師のためのワクチン接種研修

23 ⑥ 総合薬学講座Ⅰ定期試験

24-8.4 ①~④ 前期定期試験(8日間)

8

3 オープンキャンパス

7-8 関西3薬科大学
「合同業界研究セミナー(企業編)」

9-10 オープンキャンパス

26 ②~⑤ 奨学金奨学生証授与式
奨学金制度奨学生証授与式・交流会

29 ①~③ 5社7薬科大学共同企画
「製薬企業理解セミナー」

9

2-11 ①~④ 前期追再試験(8日間)

7 3薬科大学共同開催
「公務員職種理解セミナー」

8-12 ① 初期体験臨床実習(5日間)

10 ⑤ 病院・薬局実習報告会
(1期~2期グループ)

16 ①~④ 後期開講日